

県自転車競技連盟を代表し、3月24日に県政功績者表彰を受賞しました。



東京オリンピック・パラリンピック運営に際し、28団体1個人に贈られた県政功績者表彰の栄に浴し、受賞者を代表し、ご挨拶申し上げます。

冬の観光誘客のために始まった山梨県雪合戦大会は、16回目を迎えました。



北海道・昭和新山発祥の雪合戦大会を、平成18年より、本県にも誘致し、3年ぶりに無事に開催されました。コロナ禍での苦渋の決断のもと、今期、全国で唯一の開催となり、全国から18チームがエントリー（当日12チーム参加）され、極寒の中、熱い戦いが繰り広げられました。

浅川カミプロフィール

- 昭和22年7月8日生
- 昭和41年/須玉商業卒業
- 昭和45年/拓殖大学卒業
- 昭和49年/昭和三十三大学卒業
- 平成10年/高根町議会議員 初当選
- 平成13年/高根町議会副議長
- 平成15年/県議会議員 初当選
- 平成17年/決算特別委員長
- 平成18年/出資法人調査特別委員長
- 平成19年/農政商工観光委員会企業会計決算特別委員長
- 平成20年/総務委員長
- 平成21年/第105代県議会副議長
- 平成23年/第120代県議会議員
- 平成26年/予算特別委員長
- 平成27年/リニア建設研究委員会 委員長
- 平成28年/山梨県監査委員
- 地域振興
- 昭和59年/八ヶ岳青年会議所 創立メンバー 副理事長
- 平成9年/清里小学校PTA会長
- 平成16年/清里観光振興会長
- 平成18年/山梨県雪合戦連盟会長
- 北社肝友会 相談役
- 平成21年/北社ライオンズクラブ 会長
- オール山梨青年会議所シニア会長
- 公益社団法人やまなし観光推進機構 副会長
- 平成22年/県共同募金会 会長
- 県緑化推進機構 会長
- 平成23年/産業技術短期大学校 後援会長
- 平成25年/NPO法人 ボールラッシュの会 会長
- 一般社団法人 北社市観光協会 会長
- 平成26年/山梨県剣道協会 会長
- 第10回ヤーコンサミットin八ヶ岳会長
- 平成27年/県自転車競技連盟 会長
- 県都市計画審議委員
- 平成28年/県立北社高等学校同窓会 会長
- 平成30年/東京オリンピック・パラリンピック 山梨県実行委員会副会長



# 浅川カミ 県政だより

誠意・熱意・創意・勇気を持って「熱き心の郷土愛」

## 「いのちを守る」ことの大切さを肝に銘じて

皆様には、変わらずお元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

先ず、死者、行方不明者を合わせると2万人を超えるという未曾有の被害をもたらした東日本大震災から11年目を迎え、いまだ3万人を超える方々が避難生活を余儀なくされています。改めてまして、お亡くなりになられた方に心からお悔やみ申し上げますとともに、避難されている皆様にお見舞いを申し上げます。

今、世界を見ますと、戦争が起こっています。ウクライナを軍事大国ロシアが侵略し、多くの子供たち、女性、お年寄りが厳しい避難生活を送り、若者たちが銃を持って前線で戦っています。このことは、日本にとっても他人事ではありません。ロシアはヨーロッパと接しているだけでなく、日本海を隔てて日本と近接しています。アジアでも、北朝鮮が大陸間弾道ミサイルを日本海

に向けて発射するなどの挑発を行っており、いつ、いのちの危険にさらされる事態になるかもしれません。

私は議員として、改めていのちの大切さと、いのちを守ることの重要性を痛感し、これまで訴えてきた国土強靱化や安全・安心のための施策の推進に、これからも責務を果たしていかねばと考えるところです。

さて、2月定例県議会は、令和4年度当初予算を可決し、3月23日に閉会しました。

令和4年度当初予算では、第一の柱として、「強靱化」をキーワードに、強くしなやかな社会をつくり「三つのリスク」に備えることを挙げています。

一つ目は、感染症に対する強靱化として、必要な医療を届けるとともに、「命」と「生活・経済」の両立を旨とされています。二つ目は、「自然災害に対する県土の強靱化」として、緊急性の高い防災・減災対策などに重点的に取り組むとしています。三つ目は、「事故や犯罪に対する強靱化」として、交通事故や犯罪が起こりにくい社会をつくるとしています。



かねてから私は、国土強靱化のための施策について、知事とともに国や与党への要望活動を行うなど、早急な実施を求めてきました。また、「命」と「生活・経済」の両立を旨とす医療の施策も、ウィズコロナ時代を迎え、県を挙げて対処していかなければならない重要な課題と考えていますので、「強靱化」を予算の柱に据えて、具現化を目指す知事の姿勢を高く評価するものです。

更に、食の安全に関しても、2月定例県議会において、主要農産物の種子の確保及び安定的かつ持続的に供給すること、県民の食を守る持続可能な農業生産に寄与することなどを目的とした「山梨県主要農産物種子条例」を提案し、全会一致で可決することができました。

これからも「いのちを守る」ことの大切さを肝に銘じて、力の限り努力して参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。



# 山梨県 強靱化の取り組み

## 強靱な県土づくり

緊急性の高い防災・減災対策に重点

(公共事業)

●公共事業・県単独公共事業費(931億円)

※当初+2補(対前年度比 +36億円, +4.0%)

◆国直轄事業除きでは、883億円

(対前年度比 +43億円、+5.1%)

◆防災・減災対策は、313億円

(対前年度比 +26億円+9.1%)

※将来にわたる社会資本整備の持続可能性を担保するため、通常の公共事業等については、県負担の水準にも留意しつつ、重点化・効率化

(防災対策)

●富士山火山広域避難対策推進事業費

(8,581千円)※2補

改定された富士山ハザードマップを基に、要支援者対策や降灰からの避難等を検討

●(新)富士山火山現地対策拠点機能整備事業費

(37,023千円)

噴火時の現地対策拠点の機能を確保するための設備等を整備

●(新)防災航空基地等整備検討事業費

(11,969千円)

災害時の防災体制を強化するため、消防防災航空基地の整備手法等を検討

●(新)震度情報ネットワークシステム更新事業費

(359,821千円)※2補

地震発生時の的確な初動体制を確保するため、震度情報ネットワークシステムを更新



## 犯罪や交通事故が起こりにくい社会づくり

県内全域で子どもが安心して通学できる環境を構築

●(新)交通安全施設緊急整備費(104,108千円)

小学校等の周辺道路における横断歩道標示等の更新

●(新)犯罪の起こりにくい社会づくり

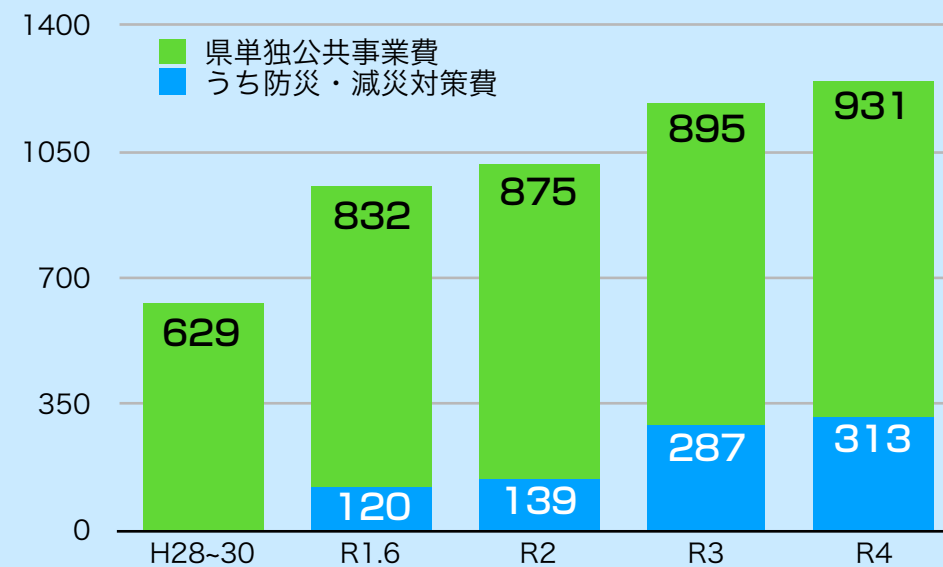
推進事業費(9,330千円)

市町村や地域団体の防犯カメラ設置への支援など



### 公共事業・県単独公共事業費の推移

(R2~4年は2月補正の経済対策を含む)



# 山梨県主要農作物種子条例について政策提案を行い、全会一致で可決されました。

## 1 条例制定の経緯

戦後の食糧増産を背景に、昭和27年に制定された「主要農作物種子法」は、稲、麦類、大豆の優良な種子の生産・普及を進めることを定めていましたが、生産者の技術水準の向上、種子の品質安定等により、平成30年4月に廃止されました。各都道府県では、廃止された法律の規定を踏まえて条例等を定めていますが、本県においては令和元年度末に要綱を制定し、これにより運用がなされてきました。そのような中、地元の武川米などの生産者をはじめ、多くの関係者の方々から条例制定の依頼を受け、JA梨北など10以上の農業関係団体の意見を伺い、条例制定に御賛同をいただいたところであり、より明確なルールである条例を制定するため、令和4年2月定例会に提案を行いました。

## 2 条例の概要

本条例は、私たちの食生活を支える基幹品目である稲、麦類及び大豆を主要農作物と定義し、本県の主要農作物の品質確保及び安定的な生産、並びに県民の食を守る持続可能な農業推進に寄与することを目的としています。本条例の主な内容といたしましては、まず、第3条において、主要農作物の種子の生産及び普及について、県と関係者が、相互に連携し協力することにより推進されなければならないことを定めています。また、第4条では、県の責務として、施策の計画的な推進、種子生産者及び種子管理団体への情報提供等を定めています。さらに、第8条では、県は、原種の供給を行い、原原種の確保について必要な措置を講ずることを定めています。

## 3 条例制定の効果

本条例が制定されたことにより、本県の農業が持続的に発展し、良質な主要農作物の安定的な供給が図られ、県民の食生活が守られることを願っています。(令和4年4月1日施行)



今回御意見を伺った皆さま

- ・南アルプス市長 金丸一元 様
- ・北社市長 上村英司 様
- ・甲斐市長 坂保 武様
- ・身延町長 望月幹也 様
- ・丹波山村長 岡部岳志 様
- ・JA山梨中央会 代表理事会長 澤井實 様
- ・JA全農やまなし(山梨県主要農作物生産改善協会事務局)
- ・本部長 梶原一明 様
- ・JA梨北 代表理事組合長 小池啓一 様
- ・JA南アルプス市 代表理事組合長 中澤豊一 様
- ・JAクレイン 代表理事組合長 高橋明夫 様
- ・有限会社 望月農業センター 代表 望月茂喜 様
- ・農業法人 株式会社こびっと 代表取締役社長 三井勲 様
- ・農事組合法人 長坂ファーム組合 代表理事組合長 村松三男 様
- ・農事組合法人 武川ファーム組合 代表 亀井重治 様
- ・あけぼの大豆 振興協議会 会長 望月悟良 様
- ・曙大豆種子保存会 代表理事 河西勝 様
- ・コミュニティカフェ たんぽぽ食堂 上野 様
- ・稲作農家(小規模家族経営) 様
- ・稲・大豆作農家(小規模家族経営) 様

## 3月15日 高根町東井出地区の道路拡幅の要望を受け、現地調査を行いました。



## 大泉地区の皆さんから河川に関する要望をお受けしました。



## 2月9日に清里大橋周辺の景観改善の要望を受け、翌月には景観整備がなされました。



地元観光業者の求めにより、景観改善のための現地調査を当局と行いました。

景観確保のための整備が迅速に行われました。

完成3月20日